

みる・きく・まなぶ

入場
無料

「温故知新 vol.6」

ドキュメンタリー映画

『1/10 Fukushimaをきいてみる』
(2017年度版)

上映会 & トークライブ



「福島はいまどうなっているのか？」
今年もきいてみようと思います。

福島に生きる人達が、何を考え、
どんな事を話しているか。
私たちが、直接聞いてきたものを伝える。
これは、ただそれだけに徹した、
ストレートこの上ない記録映画です。

1/10 Fukushimaを きいてみる 2017

聞き手：佐藤 みゆき 撮影：相崎 佑介 百束尚浩 音楽：松岡 政長 編集：伊藤了太 古波津陽
録音協力：倉貫雅矢 整音：田中 俊 整音協力：株式会社映広 企画：古波津陽 相崎 佑介 佐藤 みゆき
上映協力：佐山 泰三 / サンモールスタジオ 鈴木 賀典里 伊藤了太 小玉 有吾
特別協力：松井 麻好 フォセット・コンサルティング River inc.
歌「願い」：門馬よし彦(HARU'S) Shimva
監督：古波津陽
<http://fukushima-ask.info>

日時

2018年 7月7日(土)

会場

〒924-0865石川県白山市倉光8丁目16-1
白山市福祉ふれあいセンター
(2F 視聴覚室)



主催 / RIRE (リール) 共催 / 白山市社会福祉協議会

後援 / 北陸中日新聞、朝日新聞金沢総局、石川テレビ放送、北陸放送、北陸朝日放送、石川県社会福祉協議会

RIRE
人につなぐ、心をつなぐ



「避難」は？
 「帰還宣言した町」は？
 「家族の搜索」は？
 そして、
 「ふるさと」は？



「温故知新」とは…
 みる・きく・まなぶ

毎回、テーマに沿ったゲストを招き、フォトジャーナリスト高橋智裕が、お話を進めていくトークライブです。安全安心な暮らしと、子どもたちに夢ある未来を託すためには「あらゆる事象に関心を持ち正しい知識を得ること」「自分と異なる価値観に意見にも耳を傾けること」「相手の立場に立ち思いやりの心を持つこと」が必要だと感じます。各回のテーマに沿ったゲストが語る言葉から、古きを温め、新しさを知り、そして共に学びましょう。昨年に引き続き、今年もドキュメンタリー映画上映会を開催します。今年度は2017年度版の上映です。上映後は、この映画を制作した古波津陽監督と皆さんで語り合いたと思います。

古波津監督から…

急速に変わるものと、解決されずに取り残されているもの。「福島県」と言ってもひとくりにできないくらい、起きている問題も、そこで暮らしている人の思いも様々。様々すぎて、県外の人にはそれがとても伝わりにくい。だからまとめて分かってとせず、一人一人お会いして、一つ一つとお話を聞かせてもらおう。10年続けたら、今起きている変化の意味や、解決の答えの片鱗が見えてくるのかもしれない。

そんな思いで続けている「1/10 Fukushimaをきいてみる」のドキュメンタリー映画シリーズは今年で5年目、映画にして5本目となります。どうぞ私達が出会った魅力的な方々のお話を、聞きにいらして下さい。

なお、「1/10 Fukushimaをきいてみる 2017年版」には、これまでに作られた4本の映画のダイジェスト版が含まれますので、今年初めてシリーズをご覧になる方にも見やすくなっております。

上映スケジュール 1回目/9:30開場 10:00~12:00 2回目/13:30開場 14:00~16:00



《ゲスト》

古波津 陽 氏 (こはつ よう)

'09年に劇場映画『築城せよ!』でデビュー。性同一性障害をテーマとした「ハイヒール革命!」などの長編映画のほか、ドラマ「炎の経営者」(フジ)、「お父さんは高校生」(NHK)や、東京建物のショートフィルム「PUZZLE ROOM」農林水産省「『知る』っておいしい。」、beポンキッキーズ「ミンナでミンワ」シリーズ、海外イリュージョンの映像監督などを手がける。
<http://no-work.com>



高橋 智裕 (たかはし ともひろ)

フォトジャーナリスト 1973年福島生まれ 金沢市在住
 いわき市の小名浜港を取材中に津波に流され、一命を取り留める。その後、被災地各地の取材を続け、テレビ・ラジオ・新聞等を通じて被災地の「今」を発信し続けている。
 その他、学校・地域等において震災経験や防災意識に関する講演を行い、心と身体で経験した自然災害の事実を様々な視点から捉え、参加者の心に響く発信をしている。

お問い合わせ先 メールアドレス/rire.mina@gmail.com 電話/080-1950-8843(担当:高橋 美奈子)